

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本大会は2023年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項に基づいて実施する。

## 2 競技者案内所(TIC)

競技者案内所を競技場正面入り口に置き、次の業務を行う。

- ① 競技者、チーム関係者の受付
- ② 各種 問い合わせ、落し物等の取扱い
- ③ 抗議、上訴の受付
- ④ プログラム販売(1冊500円)
- ⑤ リレーオーダー用紙・プログラム訂正用紙配布
- ⑥ 撮影許可の受付

## 3 受付について

学校受付は、3日間とも競技場正面入り口前にて7:45から行う。

## 4 練習について

メイン競技場の練習時間は、7:00~8:50とする。砲丸投の練習は補助競技場で行うこと。円盤・ハンマー・やり投の練習は、アクアウィング横の多目的運動広場にて行うこと。ウォームアップ場係の指示に従い、決められた場所以外での練習は絶対にしてはならない。競技会の時間以外には必ず顧問が付き添うこと。

## 5 競技場について

競技場(含補助競技場)は全天候舗装のためスパイクのピンはすべて9mm以下の専用ピンとする。ただし、走高跳・やり投は12mmを超えてはならない。

## 6 招集について

- ① 100m スタート付近(トレーニング室内)に招集所を設ける。招集開始時間、招集完了時間は、プログラム競技日程記載の通りとし、時間に遅れないようにすること。
- ② 種目を欠場する場合は、本人または代理人が招集所に申し出る。
- ③ 他の種目と兼ねて、同時に競技する者は、招集所の競技者係とその種目の審判員に申し出て、競技進行に支障のないようにすること。
- ④ リレー種目に出場するチームは、各ラウンドともオーダー用紙に必要事項を記入し、各組の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。オーダー提出後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。
- ⑤ 八種競技の100m、110mH、七種競技の100mH、走幅跳については招集所で招集を行い、その他の種目についてはプログラム記載の時刻に混成控室にて招集を行う。また、最終種目(男子1500m・女子800m)はその際、混成競技係よりレーンナンバー標識と腰ナンバー標識を受け取ること。

## 7 競技について

- ① アスリートビブスは、胸・背各部に取り付ける。ただし、跳躍種目は胸・背のどちらかでよい。アスリートビブスのない者は出場できない。
- ② 4×400mRのアンカーおよび800m以上の種目は腰ナンバー標識を、3000m以上の種目は胸と背につけるレーンナンバー標識を事前に招集所で受け取ること。
- ③ 棒高跳用のポール以外の用器具は競技場備えつけのものを使用する。競技場内へは練習用といえども個人の器具を持ち込んではいない。
- ④ 走高跳は、Aピット(第2曲走路内側100mスタート側)・Bピット(第2曲走路内側200mスタート側)の2か所で行う。また、走幅跳はAピット(ホームストレート側)・Bピット(バックストレート側)の2か所で行う。
- ⑤ 出場する選手、競技役員、補助員以外は競技場内へ入らないこと。また、出場する選手が競技場所を離れる場合は必ず競技役員に申し出ること。
- ⑥ リレー、走高跳用のマーカーは各競技者で用意すること。それ以外のフィールド種目のマーカーは主催者が用意する。終了後は撤去すること。
- ⑦ リレー出場者は各チーム同系色のユニフォームを着用するものとする。
- ⑧ 混成競技の最終種目の組合せは、それまでの得点合計によって編成する。
- ⑨ 三段跳の踏切板は砂場より男子は11m、女子は9mの位置に設置する。

⑩ フィールド競技の試技を命ぜられてからは、以下の時間内に試技を開始しなければならない。

残っている 競技者数	単独種目			混成競技	
	走高跳	棒高跳	その他	走高跳	その他
4名以上	1分	1分	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分	1分30秒	1分
1人	3分	5分	—	2分	2分
連続試技	2分	3分	2分		

⑪ 混成競技において各レースの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者はすべて失格とする。

⑫ 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について（ただし、天候等により審判長判断で高さの変更もあり得る）

【男子】

練習

走高跳 任意(3段階) 1.60 1.65 1.70 1.75 1.80 1.85 1.90 1.93 1.96 . . .

走高跳 (混成A・B) 任意(3段階) 1.40 1.45 1.50 1.55 1.60 1.65 1.70 1.73 . . .

棒高跳 任意(4段階) 2.40 2.60 2.80 3.00 3.20 3.30 3.40 . . .

【女子】

練習

走高跳 任意(3段階) 1.35 1.40 1.45 1.50 1.53 1.56 . . .

走高跳 (混成A・B) 任意(3段階) 1.15 1.20 1.25 1.30 1.35 1.38 . . .

棒高跳 任意(4段階) 2.00 2.20 2.30 2.40 2.50 2.60 . . .

・同記録で順位決定の必要がある場合（1位と北信越大会への出場権）は、バーの上げ下げを走高跳は2cm 棒高跳は5cm で実施する。

・棒高跳の招集完了後の流れは、競技開始40分前（厳守）から公式練習を1人2本行うので、それまでは足合わせの時間とする。公式練習は競技役員が選手と相談し決定した4段階の高さを実施する。

## 8 助力について

① 競技者は、ビデオ・ラジオ・音楽プレーヤー・トランシーバー・スマートフォン・タブレット等を競技場内に持ち込むことはできない。

② コーチ等からの助言やビデオ等の視聴については競技場区域外（スタンド）のみとし、コーチングエリアは設けない。ただし、ビデオのつりさげや手渡し、競技者が視聴の為に当該競技エリアから離脱することは認められない。招集所や競技場内でこれらのことが明らかになった場合は、主催者で預かり競技終了後返却する。

## 9 抗議・上訴について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、正式結果が発表されてから30分以内（同一日に次のラウンドがある場合は15分以内）にその競技者所属の顧問がTICまで申し出る。その抗議に対する審判長の裁定に納得ができない場合は、 Jury に上訴することができる。その手続きは「上訴申立書」を記入の上、委託金(1万円)を添えて、TICへ申し出ることとする。

## 10 学校対校について

① 男女別学校対校とし、男女別種目の合計点によって学校順位を決定する。（同点の場合は上位入賞者の多い学校を上位とする。）

② 入賞者の得点は1位8点、2位7点、以下6、5、4、3、2、1点とする。

## 11 競技結果発表と表彰について

① 競技結果は、記録速報サイト(右 QR コード)にて発表する。会場内の密集を避けるため、掲示は行わない。

② 各種目8位までの入賞者に賞状を授与する。表彰式を行うので速やかに表彰控室(2階会議室)に集合すること。

③ 男女共、総合得点優勝校には優勝杯と賞状を、2・3位の高校には賞状を授与する。

## 12 北信越新人大会への出場について

① 上位4名(4チーム)の者は北信越新人大会への出場資格を得る。ただし、1人2種目以内とする(リレーは別)。辞退者が出た場合、8位以内から順次繰り上げをする。競技終了後、競技役員の指示に従い参加の意志を確認する。

② 北信越新人大会出場権取得者は、大会終了日までに本部へ参加料1人2,000円・プログラム代800円を添えて各校まとめて申し込む。

## 13 応急処置について

大会期間中の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。その後の処置については、各学校の引率者の責任において対処すること。

《記録速報サイト》



#### 14 その他

- ① 競技者の服装・身なり・態度は、高体連の競技者の心得に準ずるものとし、高校生らしい態度で臨むこと。
- ② 貴重品は各自保管すること。
- ③ 各校選手休憩場所の確保は、顧問申し合わせ事項に従い実施する。競技場は、3日間とも7:00に開場する。
- ④ 競技場内での撮影は参加校部員及び該当選手の保護者がその該当を対象にしたもののみ許可し、それ以外の撮影は一切認めない。撮影希望者は、TICにて撮影許可証を受け取り、撮影時は身につけること。
- ⑤ プログラムの記載ミスについてはプログラム訂正用紙をTICに提出すること。
- ⑥ 横断幕はメイン、芝生スタンド共に最上段のみとする。

#### 15 感染症対策（高体連通知より抜粋）

- ① 発熱や咳・咽頭痛など風邪症状を含め体調不良の場合には、無理せず大会参加を自粛すること。事前の体調観察を行い大会へ参加すること。※臨時休業中の大会参加については、陽性者以外は検温等により健康観察を行い体調不良でないことを確認の上、学校医の助言等を踏まえて学校長の判断により公式大会に参加できる。（県教委）
- ② マスクについては個人の判断とするが、会場内での指示がある場合にはそれに従う。
- ③ こまめな手洗い、咳エチケットを励行する。
- ④ 会場内で出たごみは、各自持ち帰ること。

#### 16 競技者動線について

- ① 競技役員・補助員は1階正面入口より競技場内へ入場する。原則として、1階の場内は招集所通過後の競技者および競技役員の動線とし、2階コンコースを競技者の動線とする。なお、更衣室へ行く場合は競技者も1階正面入口より進入することができる。
- ② 競技場内の競技者の動線については、次頁の別紙のとおりとする。